

「Innovators Under 35」日本版 2023 年度の受賞者が一堂に セレモニーイベントを本日 18 時よりライブ配信

若きイノベーターを発掘する「MIT テクノロジーレビュー」主催アワード授賞式
受賞者 10 名の中から協賛企業が選定する“特別賞”も発表

MIT テクノロジーレビュー [日本版] (運営: 株式会社角川アスキー総合研究所、代表取締役社長: 加瀬典子) は、『Innovators Under 35 Japan 2023 in Nihonbashi (イノベーターズ・アンダー35 ジャパン 2023・イン・ニホンバシ)』のセレモニーイベントを、2023 年 11 月 30 日に室町三井ホールで開催します。本イベントはライブ配信を予定しており、無料でご視聴いただけます。



本イベントでは、「コンピューター／電子機器」「輸送 (宇宙開発)」「AI／ロボット工学」「エネルギー／持続可能性」「医学／生物工学」の分野で活躍する、「Innovators Under 35 Japan」2023 年度の受賞者 10 名を表彰。受賞者全員が自身の活動についてのプレゼンテーションを行うほか、審査に携わった H2L, Inc. CEO、琉球大学工学部教授の玉城絵美氏をお招きし、特別講演を実施します。

<受賞者 (五十音順) >

阿部博弥氏 (東北大学/AZUL Energy)、井上浩輔氏 (京都大学)、遠藤礼子氏 (京都大学)、久津見ゆうか氏 (サントリーホールディングス)、齋藤 諒氏 (MIT・ハーバード大学ブロード研究所)、中安祐太氏 (東北大学/里山エンジニアリング)、野入亮人氏 (理化学研究所)、森田直人氏 (東京大学)、森山美優氏 (イェール大学)、山本憲二郎氏 (Aster/東京大学生産技術研究所)

■特別賞「ISID 賞」

併せて本日、協賛企業が特に注目する受賞者に授与する特別賞「ISID 賞」が決定しました。

受賞者: 井上浩輔 (所属: 京都大学)

機械学習により個人の治療効果を予測し、医療・公衆衛生の介入に利用する新たなアプローチを提唱。

選定企業: 株式会社電通国際情報サービス

選定理由: 誰もが願う「健康」への格差消失の可能性を感じる、これからの社会に対してインパクトのある研究だと思います。また、今後さまざまな企業と連携し、年齢にかかわらず生き生きと暮らせる社会への期待もあり、決定しました。



『Innovators Under 35 Japan 2023 in Nihonbashi』 イベント概要

日時：2023年11月30日（木）18：00～20：30（17：30 受付開始）

会場：室町三井ホール（東京都中央区日本橋室町三丁目2番1号 COREDO 室町テラス3階）

主催：MITテクノロジーレビュー [日本版]（運営：株式会社角川アスキー総合研究所）

協賛：一般社団法人クロスユー、三井不動産株式会社、株式会社電通国際情報サービス

開催形態：現地およびオンライン

料金：無料（事前登録優先制） ※懇親会は別途有料

定員：150名（現地）

MITテクノロジーレビュー [日本版] YouTube 公式チャンネルより無料ライブ配信を行いますので、ぜひご視聴ください。たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

URL：<https://www.youtube.com/@techreviewjp>

※本イベントの詳細および会場への参加方法については、公式サイトをご覧ください。

URL：<https://events.technologyreview.jp/iu35/>

「Innovators Under 35（35歳未満のイノベーター）」とは

米国マサチューセッツ工科大学 MIT) のメディア部門「MITテクノロジーレビュー」が主催する国際アワードです。世界的な課題解決に取り組み、未来を形作る若きイノベーターの発掘と支援を目的とし、Google 共同創業者のセルゲイ・ブリン氏や、Meta (旧 Facebook) 共同創業者兼会長兼 CEO のマーク・ザッカーバーグ氏など、過去 20 年以上にわたり優れたイノベーターを数多く選出してきました。

その歴史あるグローバル・アワードの日本版「Innovators Under 35 Japan」は、超少子高齢化と労働人口の減少、社会インフラの老朽化など、多くの社会課題を抱える日本から、テクノロジーによる課題解決に貢献する人材を発掘し、世界へと発信していくことを使命としています。

■MITテクノロジーレビューについて

『MITテクノロジーレビュー (MIT Technology Review)』は、1899年に米国マサチューセッツ工科大学によって創設された、世界で最も歴史と権威があるテクノロジー誌です。米国版の読者層はその8割超がテクノロジー部門の責任者であり、6割が経営層です。

日本版は米Technology Review Inc.とのライセンス契約のもと、株式会社角川アスキー総合研究所が2016年から会員制Webメディアとして運営しています。

[日本版] 公式サイト

<https://www.technologyreview.jp/>

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ】

株式会社角川アスキー総合研究所 広報担当 堀

press-cp@lab-kadokawa.com